

# 自ら考え、自ら判断し、自ら表現する 生徒の育成

～指導と評価の一体化の視点を生かした学びの「見える化」～

可児市立西可児中学校  
令和7年2月7日

# 「指導と評価の一体化」事業 重点メニュー

## ◎評価活動

各種テスト、レポート等の工夫による適切な評価の在り方

## ○ICTの活用

効果的・効率的な「指導と評価の一体化」の実現

# 重点メニュー 「評価活動」について

「指導と評価の計画」  
の  
「見える化」

教師にとっての  
「見える化」

生徒にとっての  
「見える化」



# 西可見中学校の「見える化」とは

## 「指導と評価の計画」 の「見える化」

指導  
方法

評価  
場面

評価  
方法

単元を  
貫く  
問い

ねらい

## 教師にとっての 「見える化」

単元の  
出口

学習  
内容

## 生徒にとっての 「見える化」

学習  
状況

自己の  
変容

思考の  
変容

思考  
の様子

## 「指導と評価の計画」の「見える化」

### 単元で育成したい資質・能力の位置付けの「見える化」

- ・目標（関連する領域、単元、題材、学年ごとの目標）
- ・3観点の評価規準
- ・展開案を含む単元指導計画 
- ・単元評価計画（パフォーマンステストなど）   
→教師が見取る視点
- ・本時案 

# 「指導と評価の計画」の「見える化」

指導  
方法

評価  
方法

評価  
場面

## 単元で育成したい資質・能力の位置付けの「見える化」

### 5 単元の評価規準

| 知識・技能                                                                                                         | 思考・判断・表現                                                                            | 主体的に学習に取り組む態度                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[知識]<br/>現在完了形の特徴やきまりを理解している。</p> <p>[技能]<br/>おすすめの旅行プランについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、現在完了形を用いて話す技能を身に付けている。</p> | <p>ALTに行ってみたいと思ってもらえるように、自分のおすすめの旅行プランについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p> | <p>ALTに行ってみたいと思ってもらえるように、自分のおすすめの旅行プランについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p> |

# 「指導と評価の計画」の「見える化」

## 展開案を含む単元指導計画

| 見える化の手立てと<br>教師が見取る視点                                                                                                                                                                                           | 知    | 思    | 態    | 評価方法※ |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|-------|
| <p>【研究内容1】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>単元構造の見通しカードと併せて振り返ることで、単元での位置づけを確認することができるようにする。</li></ul> <p>【教師が見取る視点】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>提出された振り返りの内容から繋がりを感じているか確認する。</li></ul> | 指導方法 | 評価方法 | 評価場面 |       |

どの時間にどの観点で評価をするのかを明確に

見取りの視点を明記することで、単位時間の役割をより強固に

# 「指導と評価の計画」の「見える化」

## < 音楽 >

これまでの練習の成果を生かし、グループごとに行ってきた音色・重なり方（テクスチュア）・強弱の工夫をこらした演奏をしよう。

評価場面

(4) 評価基準

「思考・判断・表現」について、以下の2つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件1：自分のパートのリズムにふさわしい楽器や音色で演奏している。

条件2：グループで話し合った重なり方の効果を理解して演奏している。

条件3：グループで決めた盛り上げたい場面が引き立つような強弱表現を理解して演奏している。

指導方法

(個人評価)

|   | 知識・技能                                      | 思考・判断・表現                                                                         | 主体的に学習に取り組む態度                           |
|---|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| A | ・誤りのない正しいリズムと奏法で、自分のパートのリズムを正しく演奏することができる。 | ・3つの条件を理解し、仲間と話し合った演奏の工夫を自分のパートで実践するだけでなく、曲全体のバランスを考えながらよりよい表現方法を試行錯誤しながら演奏している。 | ・3つの条件を満たして、グループの仲間との演奏を楽しみながら演奏に臨んでいる。 |
| B | ・リズムや楽器の奏法を理解し、自分のパートのリズムを概ね正しく演奏することができる。 | ・3つの条件を理解し、仲間と話し合った演奏の工夫を自分のパートのリズムを                                             | ・3つの条件を満たして、仲間と合わせ                      |
| C | ・「b」を満たしていない。                              | ・「b」を満たして                                                                        | ・「b」満                                   |

個人評価

(グループとしての評価)

|             | 本時におけるグループとしての評価の視点                                                                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Aの生徒が多いグループ | 自分たちが決めた盛り上げたい場面を効果的に演奏するために一人一人が自分のパートで実践すべき方法を多くの生徒が理解し、そろえて演奏するだけでなく、全体のバランスを理解し、場面ごとの自分の役割をよく理解して演奏できている。 |
| Bの生徒が多いグループ | 自分たちが決めた盛り上げたい場面の強弱表現を一人一人が理解し、pやf、<や>などの表現を、実践できている。その結果、演奏の強弱表現が、思いがけず、思っていた演奏になっている。                       |
| Cの生徒が多いグループ | 「b」を満たしており、思いが共通理解されて、演奏に                                                                                     |

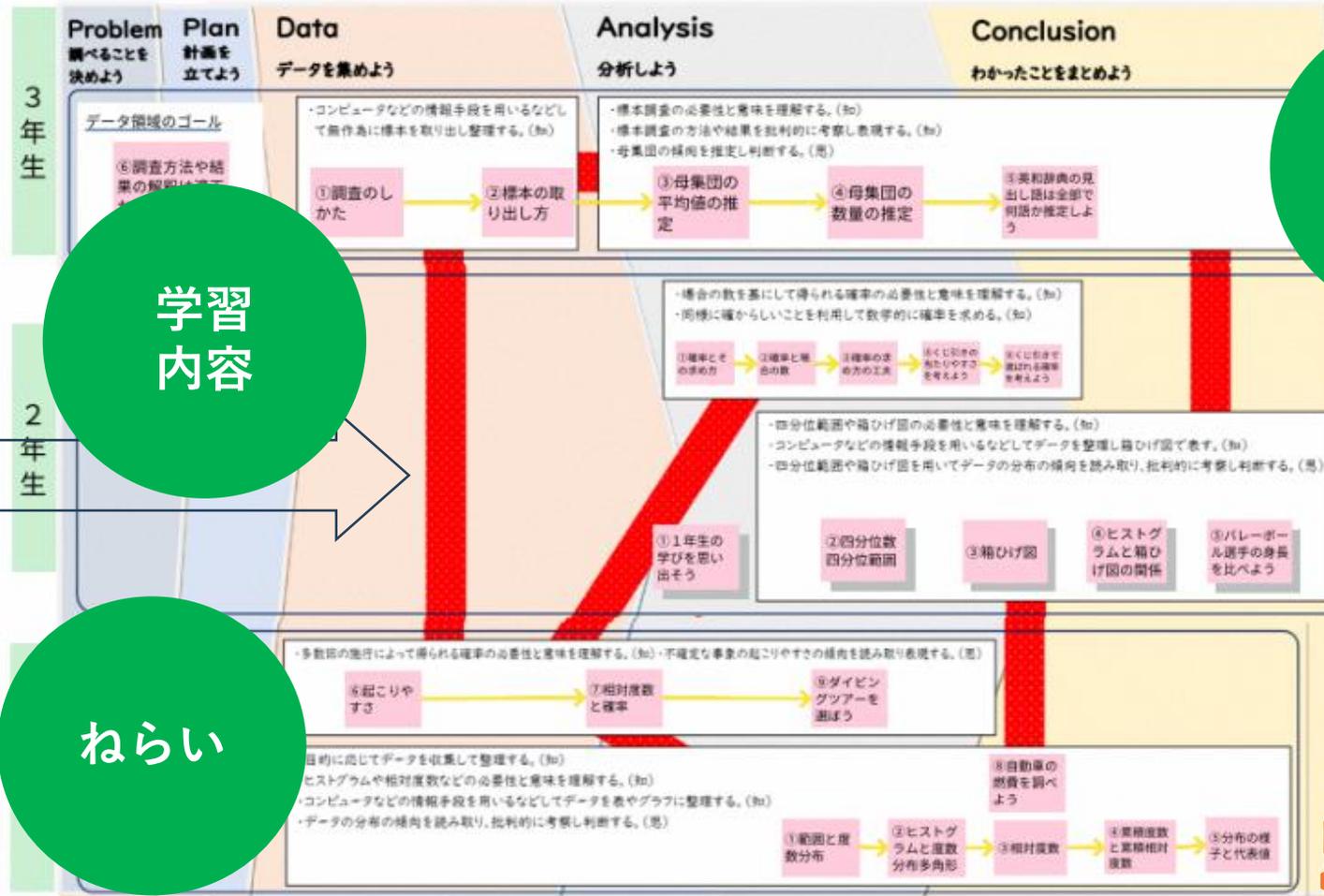
グループ評価

評価方法

# 教師にとっての「見える化」 生徒にとっての「見える化」

## 実践例【数学科】

中学3年間でのデータ領域の学びつながり図



単元の出口

単元を貫く問い

学習内容

ねらい

本時の学びが、  
どの学年のどの内容とつながっているのか、  
俯瞰できる「学びつながり図」

# 学びの導入

教師にとっての「見える化」

生徒にとっての「見える化」

実践例【技術科・数学科】



学習  
状況

生徒の交流場面



思考  
の様子

ICTの活用の様子

学びの深め

# 教師にとっての「見える化」

# 生徒にとっての「見える化」

## 実践例【保健体育科】



自己の  
変容

生徒作成画像



思考の  
変容

生徒作成Yチャート

# 学びの自覚

# 生徒にとっての「見える化」

# 実践例

## <特別支援 体育>

### 出席カードの活用

#### ①授業始め

本時頑張りたいことの番号を記入

#### ②授業終わり

生徒、教師ともに①の視点で振り返り

○生徒に寄り添った声掛けができる

△個別の支援の細かいところまで把握し、生かしきれているのか。

授業で大切にしてほしい5つから、とくに大切にしたいことをえらんで...

保健体育出席カード クラス A2

| 7月5日    | 7月6日 | 7月7日 | 7月10日 | 7月11日 | 7月12日 | 7月13日 | 7月14日 | 7月15日 | 7月16日 |
|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 番号<br>3 | 1    | 2    | 4     | 3     | 3     | 4     | 3     | 3     | 3     |
| 出席確認印   |      |      |       |       |       |       |       |       |       |
| 番号<br>4 | 3    | 4    | 3     | 3     | 3     | 4     | 3     | 2     | 3     |
| 出席確認印   |      |      |       |       |       |       |       |       |       |

A組 保健体育

授業で大切にしてほしいこと (5つ)

1. はじめのあいさつ、終わりのあいさつをていねいに。
2. 準備・片付けはみんなで協力して行う。
3. 準備運動は、ケガ予防のため必ず行う。
4. 先生や仲間の話を集中して聞く。
5. 勝手に道具をさわったり、その場から抜け出さない。

(どうしても気持ちが落ち着かない時は、先生に相談してからその場をはなれること。)

自己の変容

# 成果

- ・単元、単位時間の計画を見取りの視点とともに考えることで、生徒にとっても教師にとっても育成したい力がより「見える化」された。
- ・単元を通して「育成したい資質・能力」を軸に単元（題材）指導計画を作成し、教師が単位時間で何を指導するのか、どのように評価するのかを明らかにすることで、単位時間の中で即時評価し、次の指導改善へと繋げることができた。
- ・生徒自身が学習状況を把握し、思考の過程を、教師や生徒間で「見える化」し、共有することで学習改善ができた。

# 今後に向けての課題

- ・一人一人の個性や適性に基づいた判断力、表現力を向上させる指導過程の工夫の必要性
- ・指導と評価の一体化の視点による授業改善や指導計画の見直し